株式会社テン商事

2022　年度　　環境経営レポート

（対象期間：2022年10月1日 ～ 2023年9月30日）

認証番号 0010673

発行日：　　2023年10月25日

環 境 経 営 方 針

＜基本理念＞

株式会社テン商事は、国内外でのリサイクル事業を通じ、不要資源の再資源化に取り組み
自主的・積極的に地域社会に貢献します。

＜行動指針＞

1) **環境保全のため、環境関連法規、規則、条例を遵守します。**

2) **廃棄物排出量の削減、二酸化炭素排出量の削減、水使用量の削減に取り組みます。**

3) **環境経営レポートを社内外に公表し、社会とコミュニケーションを積極的に行います。**

4) **環境に配慮した事業への取り組みを推進します。**

5) **環境経営の継続的改善を誓約します。**

制定日：2016年10月1日
改定日：2021年7月1日

株式会社テン商事
代表取締役　菅井 健太

※取り組みへの重点分野

□組織の概要

（1）名称及び代表者名
株式会社テン商事
代表取締役　菅井　健太

（2）所在地
本　　社　　兵庫県朝来市物部152番地
工　　場　　兵庫県朝来市物部152番地

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　工場長　　TEL：079-666-8517
担当者　　工場長　　TEL：079-666-8517

（4）事業内容
リサイクル業
産業廃棄物収集運搬業

（5）事業の規模
設立　　2009年3月2日

売上高　　9,841 万円（2022年度実績）

	項目	品目	取扱量(t)
取扱量内訳	総商品販売量(リサイクル量)	プラスチック類	550
		紙類	97
		金属類	203
		ビン類	2
	収集運搬量	廃プラスチック	167.6
		木くず	85.2
		混合廃棄物	6.7
		動物性残渣	9.2
		紙くず	23.8
		金属くず	0.05
		廃蛍光灯	0.156
		廃乾電池	0.089
		ガラス・陶磁器	0.11
		汚泥	0.0
		廃油	0.0

	本社	工場
従業員	5 名	5 名
延べ床面積	20 ㎡	550 ㎡

車両台数

車種	台数	備　考
4tトラック	2 台	
合計	2 台	

主要設備

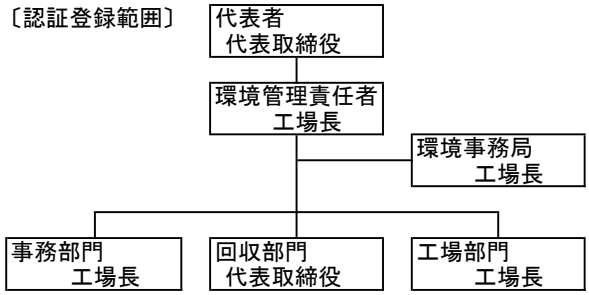
名称	台数	機器諸元、処理能力
粉砕機	1 基	11kW
圧縮機	2 基	7.5kW、9kW
缶プレス機	1 基	5kW

（6）エコアクション年度　10月1日～翌9月30日
事業年度　　1月1日～12月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　株式会社テン商事
対象事業所：　本社工場
対象事業活動：　リサイクル業、産業廃棄物収集運搬業

□環境管理実施体制図及び役割・責任・権限



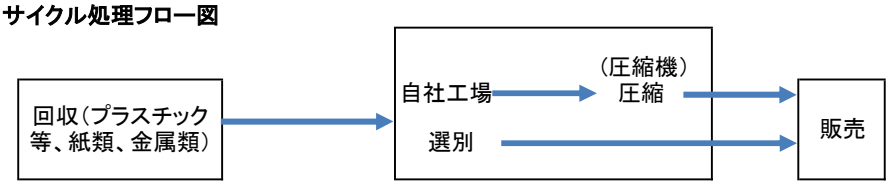
	役割・責任・権限
代表者 (代表)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境活動経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理 責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境活動経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

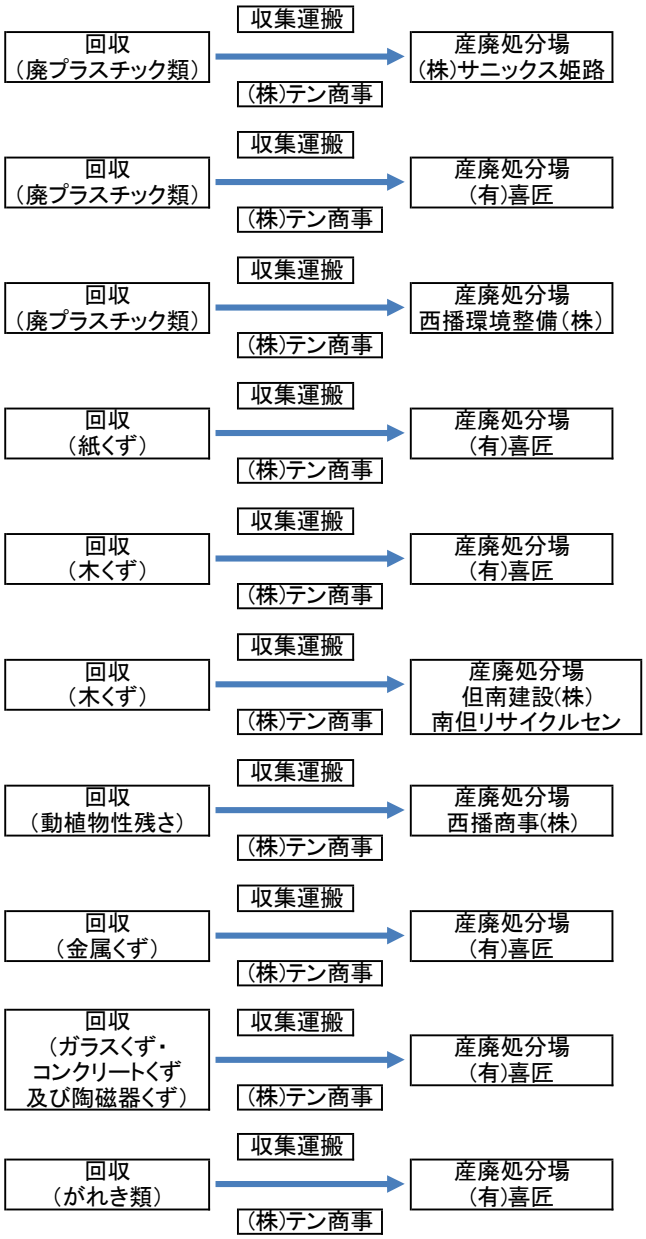
古物商・金属くず商・産業廃棄物収集運搬業

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備　　考
兵庫県	第631702400004号	令和6年6月28日	有効期限無し	古物商
兵庫県	第1702400001号	令和6年6月28日	有効期限無し	金属くず商
兵庫県	第02807185724号	令和2年10月14日	令和7年10月13日	産業廃棄物収集運搬許可（汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類） ※積替保管無し

□リサイクル処理フロー図



□産業廃棄物収集運搬処理フロー図



□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	30,985	31,648	26,655
リサイクル量(販売額)	万円	7,662	10,101	9,841
廃棄物排出量	kg	12,950	12,820	7,718
一般廃棄物排出量	kg	110	90	128
産業廃棄物排出量	kg	12,840	12,730	7,590
水使用量	㎥	63	258	275

※二酸化炭素排出係数　0.351　kg-CO2/kWh（関西電力㈱2020年度　調整後排出係数）

□環境目標及びその実績

年度 / 項目		基準値	2022年		2023年	2024年
		（基準年）	（目標）	（実績）	（目標）	（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	3,127	2,971	2,601	2,939	2,908
	基準年度比	2021年	95%	83%	94%	93%
	達成率			114%		
自動車燃料による二酸化炭素削減(ガソリン+軽油)	kg-CO2	28,396	26,976	24,054	26,692	26,408
	基準年度比	2021年	95%	85%	94%	93%
	達成率			112%		
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	31,523	29,947	26,655	29,634	29,318
産業廃棄物の削減	kg	12,730	12,475	7,590	12,348	12,221
	基準年度比	2021年	98%	60%	97%	96%
	達成率			164%		
水道水の削減	㎥	258	253	275	250	248
	基準年度比	2021年	98%	107%	97%	96%
	達成率			92%		
リサイクル業における環境配慮	排出事業者へのコスト削減の提案	－	2件	2/2件達成	3件	4件
リサイクル業における環境配慮	工場周辺の清掃	－	毎月実施	12/12ヶ月達成	毎月実施	毎月実施

※化学物質の使用はないため、環境経営目標の設定はしていない。

※排出事業者へのコスト削減の提案とは、産業廃棄物の分別を提案し、産業廃棄物排出量の削減やリサイクル品の取扱量を増加させることを指す。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：〇達成　×未達成

活動：◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	達成	昨年度と比較し、概ね目標達成できた。無理のない範囲で目標達成していきたい。
・空調温度の適正化（冷房28℃　暖房20℃）	〇	
・不要照明の消灯	〇	
・ノー残業デーの実施	〇	
・生産工程の待機時間短縮	〇	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	〇	
自動車燃料による二酸化炭素削減(ガ		
数値目標	達成	年間を通してみても、順調であった。これを維持していきたい。
・アイドリングストップ	〇	
・効率的なルートで配送	◎	
・エリア別営業活動の見直し	◎	
産業廃棄物の削減		
数値目標	未達成	定期的な清掃を実施しているため、廃棄物量が増加した。通常業務の中で発生する廃棄物量も可能な限り削減していきたい。
・分別の徹底	◎	
水道水の削減		
数値目標	未達成	作業場の清掃、夏期と冬期の水の散布が増加したため。可能な範囲で節水を行う。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	◎	
・節水弁取り付け	◎	
・自動水栓取り付け	◎	
リサイクル業における環境配慮		
数値目標	達成	引き続き次年度も達成を目指し努力する。
・排出事業者へのコスト削減の提案	◎	
・工場周辺の清掃	◎	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	マニフェスト交付・保管、産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	遵守
騒音規制法	破砕機、圧縮機の設置を市への届け出	遵守
振動規制法	破砕機、圧縮機の設置を市への届け出	遵守
消防法（危険物）	指定可燃物の貯蔵・取扱の届け出	遵守
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫の長期間使用	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。
関係当局から違反等の指摘はありません。訴訟もありません。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し年月日：2023年10月9日
代表者：菅井健太

今期は、電力使用量、二酸化炭素排出量の目標を概ね達成でき良かった。
ただし産業廃棄物の排出量、水道使用量の数値的な目標が達成できなかったが、
事業規模を鑑みれば問題視するものではないと考えられる。
来年度は引き続き設備投資、入替を行い、現場内の整備が課題と考えている。

環境経営方針	☑変更なし	□変更あり
環境経営目標・計画	☑変更なし	□変更あり
実施体制	☑変更なし	□変更あり